

投票で 豊かな四日市 きずこうよ

平成22年4月27日発行
四日市市明るい選挙推進協議会
(諏訪町1番5号・市選挙管理委員会事務局内)



四日市市文化会館での新成人啓発に集まった委員のみなさん

熱意で投票率の向上を

私たちの啓発活動は、

「贈らない」「求めない」「受け取らない」「棄権しない」の4本柱で清潔な選挙をめざしています。本年は、改選期で献身的な熱意と努力の委員が選ばれています。

私たちの啓発活動は、

投票することへの重要性を訴え続けています。選挙が身近なものとして、もっと関心が持たれるように、町から町へ人の集まる場所でがんばっています。

私たちの啓発活動は、

「豊かで幸せな生活を築くには、よい政治から生れます。明るく、正しい清き一票のねらいはここにあります。」と訴えています。

私たちの啓発活動は、

会長を先頭に、自ら進んで明推協にほれ込み、楽しくなごやかに、親ぼくを深めることによって、やがて投票率の向上へと結びつきます。

市政への関心を高めよう

前・協議会副会長(内部地区) 富島 正昭

私は、平成14年5月に「明推協」の活動に参加しました。最大の動機は、投票率の低下でした。私が特に注目したのは、一番身近な四日市市議会議員選挙の投票率です。昭和62年には75%で市議会に対する関心の高さが示されています。しかし、私が「明推協」に入る以前の平成11年は62%弱まで低下していたのです。しかも4年後の平成15年は58%弱までに低下しました。

私は何が原因で低下するのか調べました。まず、財団法人明るい選挙推進協会から定期的に送られてくる「私たちの広場」刊行物を読みあさりまとめました。結論を申しますと、投票率を低下させる最大の原因は、政治家の汚職などで起きる政治不信です。それはさておき、2位は政治が身近に感じられないでした。

四日市市では広報紙の各戸配布やCTVテレビでの議会中継が行われるなど努力されています。期日前投票の取り組みも真剣です。私たち「明推協」も努力を惜しまず頑張ってきました。昭和62年の頃とは格段の活動量です。それでも平成19年の投票率は前を下回り、53%強でした。

民主主義の危機です。50%を割ると不信任です。私はこの危機の解決は、市政への関心を高める事。そのためには年4回位、市民センターを中心に市政報告会を開き、じかで語り合う事が大事だと思います。



前副会長の啓発活動

選挙離れ みんなでよく考えよう

河原田地区 山田 眞美子



私たちの広場(No310)に掲載された「若い有権者の意識調査の概要」を読んでいて、今の20代~30代の年代は私たち年代に比べ「政治に対する意識がない」が約40%あり、「政党に対してあまり信頼できない」が約70%近くありました。誰が上に立とうが自分一人選挙に行かなくても変わらないが、若者だけではなく、私たち年代にもいえる時代になってきました。

それではどうすれば選挙の投票率が上がるか、いつも頭の痛い問題ですね。

長野県上田市のように、市内の小中学生・高校生・大学生たちから選挙啓発コマースを募集をしたり、静岡県熱海市の中学3年生の社会科の授業において、選挙啓発授業を行なって選挙に対する意識を高めていくか、これからみんなで考えなくては、選挙離れが増えていくのではないのでしょうか。



はなやかな会場での啓発活動

投票は生活や将来にも影響

日永地区 久保田 恰

参議院議員の選挙が近づいています。何の選挙によらず①できる限り、不正が無いように。②より高い、投票率を。いつも、この二つを主な願望とされながら行われます。

日々私たちは、いろいろな出来事や問題等に遭遇しますが、どんな場合でも、それ等の事への感じ方は十人十色です。その対応の仕方も、人によってまちまちです。

選挙で人を選ぶことへの関心の大きさも、人によって様々だと思いますが、最近かなりその様子も変化して来ているようにも思われます。

『若い人、余り投票にいかない』。とよく耳にしたことでした。人を選ぶ(投票する)行為が、決してひとつとは無く、自分たちの生活や国の将来について最も大切なことだと云う認識を、持ち直すべきでしょう。このことは、若い人たちだけの問題では無く、全ての有権者にとって、大事な責任として感じて貰えたらと思います。

話は変わります。日永地区の最大行事として例年行われております夏のふれあい祭りのことです。昨年8月22日(日曜日)、日永カヨーの大駐車場をお借りしての盛大な行事でした。時を同じくして行われた衆議院議員選挙の選挙運動期間と重なった事から、明るい選挙の啓発物品として用意されたウチワは、急きょ配布の中止となりました。暑い夏こそ、みんなの手にして貰えるウチワ君たちも、日永の市民センターの倉庫で夏を過ごし、今年の出番を待っています。

今年は、大丈夫かな? どうだろうね?。

指導者研修で知識を得る

八郷地区 伊藤 征雄

平成21年11月16日塩浜町の高度部材イノベーションセンターにおいて、三重県明るい選挙推進連合会三河支会指導者研修会が実施され、96名が参加いたしました。

研修会の内容は、『選挙制度について』

講師 三重県選挙管理委員会川口徳郎書記長補佐

*研修内容は、1,選挙権と被選挙権 2,選挙の種類 3,任期と選挙期日 4,選挙管理機関 5,選挙人名簿 以上の選挙制度についての講義を受けました。

私は一年生で、今回の研修に参加し社会の中で一番大切なものは何かを知り、知識を得ることができました。

私たちがよりよい暮らしを願って、私たちの代わりにその思いを実現してくれる人々を選ぶ制度が「選挙」です。だからこそ選挙のことを正しく知ることが大切です。

今後は、われわれの啓発活動を通じ自分の大切な一票を有効に生かし選挙することで、くらしや社会づくりに参加のできることを意識の変化を求めて行きたいと考えます。

研修後は、自由参加で企業の皆様が製品開発や技術課題の解決を支援する高度部材イノベーションセンターを見学いたしました。



明るい選挙三河支会研修会(高度部材イノベーションセンター)

政治に関心を持つことで より良い世の中に

水沢地区 田川 壽一

今年7月には参議院議員をはじめとして、来年4月には三重県知事、県議会議員、四日市市議会議員と任期満了にともなう、国政選挙と地方選挙が予定されています。



私たちの生活はすべて政治の姿勢と予算分配等に、大きく影響されます。

例えば働きたくても就職状況は極めて厳しく、たとえ働いていても不況時の安全弁のような扱いで退職を余儀なくされて路頭に迷われたり、国民年金、厚生年金、健康保険、失業保険等の恩恵も受けられない方もあると聞きます。また、食品への安全を保障する添加物や、残留農薬の規制対策問題をはじめ、商品への表示、教育、治安、医療、税金と納税、ありとあらゆる事が実生活に影響します。これらは、良くも悪くも法律により執行されますし、法律は我々が選挙で選んだ議員によってつくられます。

したがって、私たちは常に政治に関心をもって、より良い世の中を目指して行動する必要があります。

このため私たちに与えられている選挙権！これを行使する以外に方法はありません。

選挙には必ず投票に行きましょう。

明るい選挙とは

前・神前地区 鈴木 敏夫

毎年1月に行われる「成人式」の会場での啓発活動は、選挙権を得た人々に対する最初の啓発活動で、私はいつも少し緊張した面持ちで参加しています。

そんな場所で、「一つのグループ」の皆さんから『明るい選挙って、どんな選挙ですか?』と質問を受けました。その時、私は、こうした素朴な質問に一瞬戸惑いましたが、ここでしっかりと解答することが大事であると考え、その成り立ちから現在、私たちがしている運動について話したところ、私が想像していた以上に熱心に耳を傾けてくれたのには、正直なところ驚きとともに期待感を持ちました。

最近、若年層の投票率の低下が言われていますが、これは、若者たちを、政治に対する“無関心やあきらめ”をつくっている側に問題があるのではないかと、考えさせられるひとこまでもありました。



明推協活動での前幹事

平成22年度四日市市明るい選挙推進協議会委員

平成22年4月1日現在

地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	
富洲原	鈴木 稔	常磐	田中しづ子	塩浜	今村 明義	桜	渡邊 敏弘	下野	日置 得祐	保々	山川 憲夫	
	生川 玉雄		齋藤 勝子		粕谷 恵子		渡邊佳世子		豊田 隆		相馬 みね	
	名倉 忠昭		藤原ゆき子		伊藤 恵子		川北 眞輔		須原 皓		中 部	須賀 亮一
	藤井 勇		塚本 和泉		伊藤 静子		坂井 正紀		宮下 博一			水谷 謙之
	伊藤 盛恵		久保田 恰		中村 勝之		池村 一三		筒井美知子			豊田百合子
富田	高橋 佳子	日永	田中 資郎	小山田	萩 伸元	三重	野田 雅春	大矢知	伊藤 清隆	海蔵	三日市 存	
	早川多津子		小林 幸子		中村 實		服部 善男		渡邊 治		坂口 一昭	
	林 玄雄		寺本都美子		水野 幸子		藤谷 昌久		中村須美子		笹原 久子	
	渡邊 暁子	鏡 澄子	北尾 喜子		浦村 亨		林 純子		森 繁春			
	林 正雄	田中喜代子	辻 俊治		熊澤 淳子		三宅 恵子		渡邊 柳一			
	羽津	荒木 暁美	四郷		坂下 悦子		川島		小林 三弘		八郷	中島 幹雄
渡邊佳代子		古川とし子		北川 幸男	本田 榮	今村 亘		森下 尚子				
山下 英		後藤 良子		腰地 孝	立石 清視	大平さなえ		大塚 義雄				
		森 香英子		廣森 義招	鈴木 映子	神代 正規		高橋 艶子	山本江里子			
		久志本正彦		館 法生	島原 正美	水谷 秀子		田中 啓之		塚脇 大仁		
尾崎久美子	内 部	新開 昇	神前	新田すみ子	水沢	赤井眞知子	田川 壽一	上村れい子	田中 貴美子	楠	服部 富子	
		田中 鈴子		川村きさ代		矢田 恵美					新山みゆき	田中 夏子
寺村喜久男	土井 靖子	清水 克二	八郷	伊藤 征雄	保々	伊藤 征雄	廣田 俊隆	野原 幸二(下野)	飯田 剛生(中 部)	新屋 正紀	家城 進	
谷崎 滋夫	堀 よしみ	田中 明美		石田 隆子		廣田 俊隆					矢田 實	
常 磐	別所 春代	光本 哲夫	桜	眞川 勇	郷	宮島 久	山尾 和子	堀 春代	川合 弘吉	藤田 倫子		



長い間ありがとうございました

平成22年3月31日で退任された方

亀井 直留(富洲原)	高橋 治 (富洲原)	川村 憲一(常 磐)	堀 桂子(常 磐)	後藤 俊子(常 磐)
初田 友子(常 磐)	井上 敏夫(四 郷)	富島 正昭(内 部)	清水 芳則(内 部)	小宮 計祐(塩 浜)
村木 岩和(塩 浜)	須藤 愛子(小山田)	伊藤 久子(小山田)	宮城 啓子(川 島)	中村久美子(川 島)
青木 八重(川 島)	奥田かなえ(川 島)	鈴木 敏夫(神 前)	山口 敏樹(神 前)	中野 町子(神 前)
堤 初子(神 前)	芳山 昇 (桜)	加藤 裕久(三 重)	西脇 忠英(三 重)	竹内喜三男(三 重)
田中 進 (三 重)	山本 恵一(三 重)	立石 善造(県)	市川 春吉(県)	野原 幸二(下 野)
伊藤 義昭(八 郷)	水野 昭男(八 郷)	刑部 清子(中 部)	飯田 剛生(中 部)	加田 洋志(楠)

広報委員

委員長 萩 伸元 (小山田)

委員 久保田 恰(日永) 鈴木 敏夫(神前) 伊藤 征雄(八郷) 田川 壽一(水沢) 山田 眞美子(河原田)

おつかれさまでした



あとがき

- 予算の乏しい中、委員や選管職員の温かいご協力で第6号ができました。心から厚くお礼申し上げます。
- 企画委員会(眞川勇委員長)では、初めて浜名湖立体博の親ばく視察をしました。「はたちのしおり」の配布がなくなって、久しぶりに打ち解け、和気あいあいと連帯感を深め、有意義な楽しい一日でした。
- 市議会の傍聴、三洲支会の指導者研修をはじめ、四日市大学祭の啓発、明るい選挙の強調月間における近鉄四日市駅での啓発、2010年成人式での啓発など委員の力強い協力で予定通り行事を終えることができました。
- 本年度のモデル地区は、四地区です。知恵を出し合い、新しい着想で活発な活動をお願いします。
- 本年度は、参議院議員の選挙があります。期日前投票や投票立会人にお世話いただきます。委員の品位を汚すことなく、細心の注意を払って一生懸命、頑張っていたいただきたいと思います。